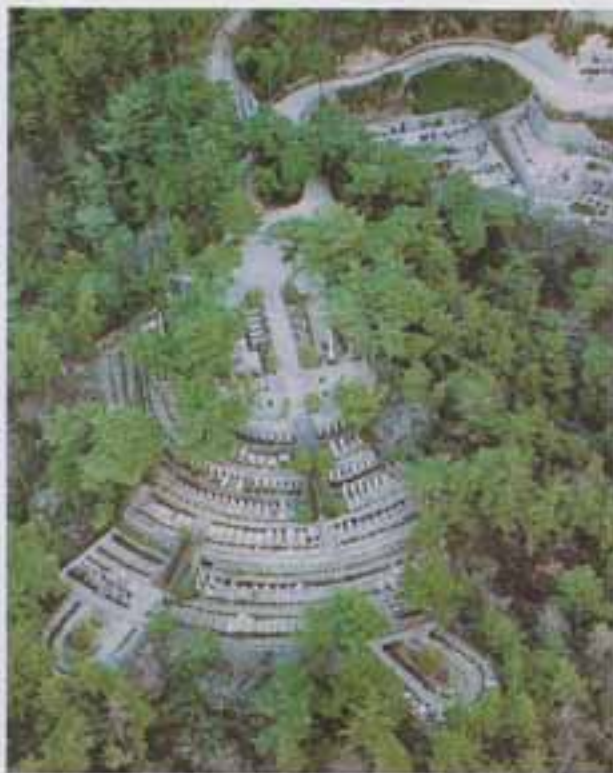


# 神戸市立外国人墓地



空から見た小野浜地区。



表の像は、第1次世界大戦の時、阪神間から欧州戦線へ出征した人たちの記念碑です。(製作者:ペッシン・オッチェイリオ)

神戸市建設局公園部森林整備事務所 外国人墓地

〒651-1102 神戸市北区山田町下谷上字中一里山4-1

TEL 078-341-5200

**KOBE**  
UNESCO City of Design

**R70**

リサイクル推進  
RECYCLING PROMOTION  
CITY OF DESIGN

神戸市立設計制作センター 平成20年度第2回 公益印刷物特約社入選

4834849

KOBE FOREIGN CEMETERY



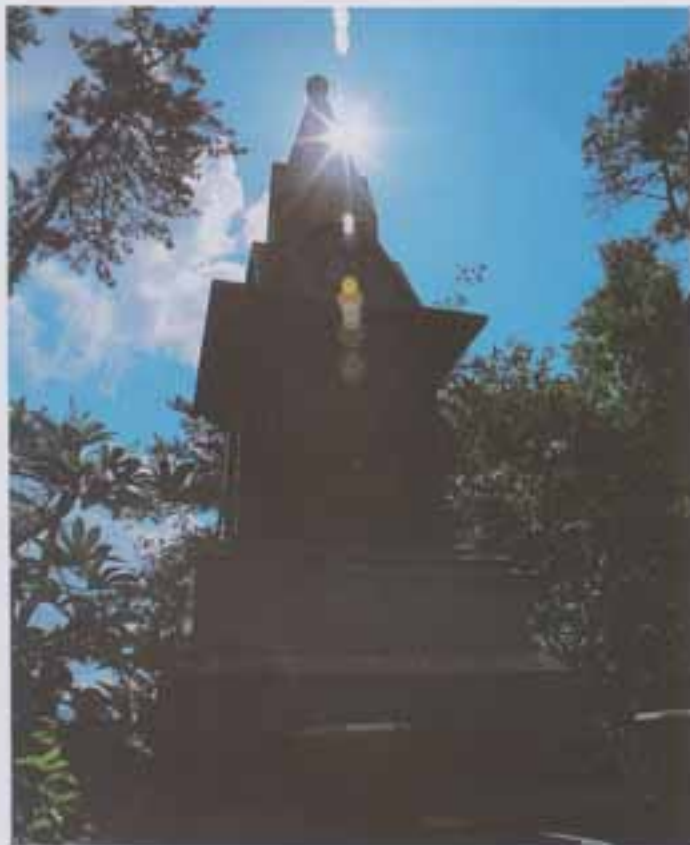
神戸の外国人墓地の歴史は、兵庫開港に先立つ1867年(慶応3年)の「外国人居留地を定める取極」にはじまります。その年のクリスマスに現在の東遊園地東側にあたる生田川尻の小野浜で最初の埋葬が行われました。翌1868年1月1日(慶応3年12月7日)には、兵庫の港が対外貿易のために公式に開かれ、外国人居留地が設けられました。神戸に住む外国人の歴史とともに外国人墓地も小野浜・春日野と歴史を重ね、1961年(昭和36年)10月に再度公園内に両墓地の移転統合



が完了し、現在の外国人墓地の礎が出来ました。現在、この墓地には明治以来日本とかがわりをもった外国人など約2700柱が埋葬され、異国での永遠の眠りについています。なお、平成19年2月には再度公園や再度山永久緑生保存地とともに国指定の名勝として登録されています。







造船など近代産業の発展に功績のあったE・H・ハンターさん。彼の住居は王子公園内に移転保存されているほか、北野町ハンター坂にその名をとどめています。



わが国のパンや洋菓子の礎を築いたフロイドリーブさんやモロゾフさんもこの墓地に眠っています。



明治元年、開国時の混乱のなかで死亡したフランス水兵11名の墓。甲斐事件として知られています。



1858年1月、大阪湾で遭難した、アメリカ海軍軍人の慰霊碑です。



初代の神戸港長J・マーシャルさん。彼の描いた神戸港の設計図は少も残っています。



外国人居留地で消防隊長を務めたA・C・シムさん。外国人スポーツクラブ KR と AC を創り近代スポーツの振興に尽くす一方、日本で最初のラムネをつくるなど多方面で活躍しました。彼の活躍を顕彰する記念碑は少も東遊園地に保存されています。



芝生墓地。百数十柱の身寄りのない人々の墓です。



日本で最初に蒸気機関車を運転したといわれるJ・ホールさん。



最初に外国人墓地として開設された小野浜から移された墓です。私学振興にも尽力したJ・W・ランバス博士の墓もみえます。